



Beyond KUSS , 2023 !!



「第1志望」、揺らいでいませんか

9月、あっという間に下旬になっています。夏季休業終了後、今日までの約3週間、どのように過ごしているのでしょうか。共通テスト志願票、独力で作成できましたか。進路・大学受験は自分の選択です。保護者をはじめ、周囲の人たちと協力・対話が必要です。しっかり対話するために、自分の意志をもつことが大切です。

総合型選抜に出願しているみなさん、大学受験は静かに進行しています。受験には必ず結果があります。合格することは大切です。そして、受験を通じて成長することが大切です。

9月末～10月上旬、自分の学びをしっかりと計画しなければならない時期です。夏季休業中、学習が思うようにはかどらなかった人、この時期に挽回を目指しましょう。期末考査を利用し、自分の弱点を見つけ出し、それを補っていきましょう。

「第1志望」が揺らぐと、学習計画も揺らぐし、受験全体が揺らいでいきます。自分の目標をしっかりと持ち、前進していきましょう。

模試貧乏?!

秋季、これまでと比較し、いくつもの業者が多くの模試を実施します。すでに、進路課から案内をしています。申し込んでいる人もいることでしょう。9回生全員が受験を予定しているのは、10月末の駿台・ベネッセ共催の共通テスト模試です。

大きく分類すると、業者は3つのタイプの模試を実施します。1つは共通テスト模試、もう1つは総合的に実力を判定する模試、さらにもう1つは特定の大学をターゲットにした模試。10月以降の模試は、原則として全範囲から出題されます。

共通テスト模試、その名前のおり、共通テストを想定した出題です。共通テストも今回で3回目、各業者、知恵を絞って出題しています。

総合的に実力を判定する模試、共通テスト模試と異なり、記述式解答です。しかし、共通テストを意識した問題が多いです。本格的な論述解答が要求される問題は少ないです。

特定の大学をターゲットにした模試、各業者が営業上必要と考える大学について実施しています。模試の名称に大学名が用いられているのが特徴です。業者により、実施している大学は異なります。現在の段階で大学別模試を受験しても、十分な答案を作成することはできないでしょう。そのような状況を認識できず、受験すると「模試貧乏」突入です。

模試は「第1志望」突破に向けた学習計画にしっかりと位置づける必要があります。それができないまま模試を受験しても、実力アップは期待できません。模試受験に向けての学習計画、模試受験後の復習に関する学習計画、これらを意識して取り組まないと、費用と時間を浪費する「模試貧乏」に陥ります。

毎年、受験生が「模試貧乏」になり、実力アップできず、「第1志望」から撤退していきます。「模試貧乏」に陥らないためには、日頃から主体的に学習を進めているかが大きな鍵を握ります。探究週間を中心とする今の時期、自らの意志で学習を進めてください。それが、2月の実力の伸びを左右します。どこに進んでいくかは、みなさん自身の判断です。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2023! 』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。